

「その時」に備える

—災害の記録と減災まちづくり—

1995.1.17 阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 提供



2004.10.23 新潟県中越地震

一般財団法人消防科学総合センター 提供



2011.3.11 東日本大震災

仙台市 提供



開催日時

平成27年

3月10日(火) ▶ 5月10日(日)

休館日/月曜日(5月4日開館)・5月7日(木)

火曜～木曜/10:00～18:00

金曜/10:00～20:00

土曜・日曜・祝日/10:00～17:00

入場無料

場 所

名古屋都市センター 11階 まちづくり広場

(名古屋市中区金山町1丁目1番1号 金山南ビル11階)

同時
開催

▶ 講演会

3月28日(土)

14:30～

ボウサイのミライ

気象技術と若い女性目線で考える
これからの防災

- 主催/公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター
- 後援/名古屋市
- 協力/阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
名古屋市港防災センター

「その時」に備える

— 災害の記録と減災まちづくり —

今年で、阪神・淡路大震災から20年を迎えます。本展では、東海地方を襲った災害を振り返り、災害の記録が示す教訓をパネル展示などで知っていただくとともに、今日にも起こると言われる南海トラフ巨大地震の及ぼす影響を学び、「その時」に備えることの重要性を理解していただきます。

▶ 主な展示内容

阪神・淡路大震災から20年

神戸市民が撮った震災映像と発生から復興にかけて収集された資料は、都市型災害の教訓を呼び起こすきっかけとなります。



▲神戸市長田区の空撮映像

▲全壊家屋の下敷きとなり壊れたアンティークカメラ

▲電信柱からはがれていた住所表示板

(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 所蔵)

災害の歴史 巨大地震の脅威

国内最大の内陸型地震とされる濃尾地震や戦後最大の風水害被害である伊勢湾台風など平安時代から現代までの東海地方を襲った災害を振り返ります。



●災害年表
「永長地震 ~ 東海豪雨」

▲1/17・10/23・3/11被災状況の比較パネル

「その時」に、命を守り、社会や生活が壊れることのないように備えを

明日にも起こると言われている巨大災害の被害を軽減するには、災害発生をイメージしてどのように行動するべきかパネル展示で導きます。



▲3m²の生活拠点 避難所 (イメージ)

(写真: 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 提供)



▲高さ7mの津波バナー

▶ 同時開催イベント

ホール上映

震災ドキュメント 発生からの72時間 (神戸市広報課職員による記録映像)
IPA 独立行政法人情報処理機構・公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 提供

講演会

「ボウサイのミライ ~ 気象技術と若い女性目線で考えるこれからの防災 ~」

最先端の気象技術を駆使した防災・減災プロジェクトやおしゃれでかわいい防災グッズ『SABOI』、“出会い”と“防災ワークショップ”を合わせた『防災コン』など若い女性を中心に広がりつつある斬新でユニークな取り組みを紹介します。

楽しく「ボウサイ」について考えませんか？

開催日時/平成27年3月28日(土) 14時30分~16時30分(14時受付)

〈講師〉宇野沢 達也氏(株式会社ウェザーニューズ 気象予報士)

田中 美咲氏(防災ガール代表)

〈司会・進行〉岡本 ナオト氏(株式会社R-pro代表取締役 yamory 代表)

【申込】名古屋都市センターへ必要事項(郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレス・年齢・職業)を明記の上、電話・ファクスまたは、ウェブサイトよりお申し込みください。

定員(30名)・申込制、空きがあれば当日申込も可能です。

お申し込み

名古屋都市センター企画課 名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル
TEL: 052-678-2212(月曜休み) FAX: 052-678-2210
ウェブサイト: <http://yamorybosai.com>から
「ボウサイのミライ」アイコンをクリック

お問い合わせ

名古屋都市センター企画課

TEL: 052-678-2212(月曜休み) FAX: 052-678-2210 URL <http://www.nui.or.jp>

まちづくりライブラリー資料展 (金山南ビル12階)

「資料から読み解く - 災害・防災 -」を開催します。
開催期間/平成27年3月27日(金)~6月24日(水)



会場にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。